

三洋電機が1万人削減の前倒しを発表

職場から

「人減らし・退職の押し付けは、イヤ」「みんな人減らし発表に、疲れ~ています」
「仕事が手につかない、なんとかしろ」「会社は展望を、労組は雇用を守れ！」

三洋電機は、9月末、グループ従業員1万人(国内5,000人、海外5,000人)を来年1月末までに前倒しで削減すると発表しました。新経営陣は7月初め記者会見で、全グループ従業員1万4000人のリストラ計画を発表し、その中で今年3月までに国内のグループ社員3,800人を削減することを明らかにしたばかりでした。僅か3ヶ月足らず後に対象人員を増やしての前倒し削減の発表です。これまでのリストラでは、間接部門から畑違いの営業部門への配転や事業所から事業所への大量異動などで数百人規模での退職者が出ています。8月に新設された子会社への賃下げを伴う転籍でも数百人規模の退職者が出ました。今回の、発表でも希望退職などではなく、異動を強要し大量の労働者を退職に追い込むというこれまで同様の三洋電機特有のやり方が予想されます。職場労働者からは、「いつ自分に異動が言われるか、仕事が手につかない」「こんなに労働者を不安に落とし入れていると、ホントに三洋の存続がおかしくなるのところがやるか」「全員一丸というが、安心して仕事に集中できる状態にしろ」などの声が上がっています。

従業員が安心して働ける状況を実現することが、会社再建の道です。



三洋電機が修正発表した来年3月期決算の予測は1400億円もの連結最終赤字ですが、今回の赤字の主因は震災被害ではなく本業での業績不振です。こんな状況が数年続けば、経営破たんさえ心配されます。本業で回復をはかるためには、職場の人々を不安に落とし入れるやり方は即刻あらためるべきです。

いま、労働者は異動の話を出し退職に追い込む人減らし策をはじめ、改革と称してこれまで導入された、賃下げ・転籍の強要や成果主義での締め付けなど、多くの不安を抱えています。これら労働者を不安に落とし入れる要因をとりのぞき、働く者が安心して仕事に集中できる状況を実現することが業績回復のための本道です。そのためには、労働者の声や要求を代表する労組の役割も重要です。みんなの力で、安心して働ける職場を実現するためがんばりましょう。

AVは全面撤退はしないとやっている。それなら、何を残すのかハッキリしてくれないといつまでも不安が続くやないの(大東)

「長年働いてきた滋賀工場が閉鎖されるかのような報道がされました。会社のホームページでは否定されましたが労働者には直接の話は一度もありません。不安で仕方ありません。勝手ではありませんか?こんな大切な事の真偽、みんなにもっと情報公開してほしい」(滋賀)

ソーラーアーク(ノアの箱舟)に乗せてもらえない社員はどうすればよいのでしょうか。リストラ人減らしの方針に賛成できない人は会社を辞めて下さいと言われていたようで、これでは社員のやる気や組織としてのチームワークが生まれるはずがありません。東京製作所(群馬)

「全社一丸となって」とかけ声。でも目標達成度評価システム(成果主義)は、評価する人される人が存在し、常にギクシャクした雰囲気をつくりだしている。これでは当面の成果を出すことも難しい。評価を気にしなければいけない制度がなくなり、新製品開発や新技術につながる研究に集中できれば...。(枚方)

発行者：電機労働者懇談会 中山森夫
〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
Tel:03-3455-6006 FAX:03-3451-3595
編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2005年11月(号外)

Electric Labor and Industry Correspondence
ELIC
(三洋電機版)

『電機労働者懇談会』は、電機労働者の生活と権利をまもるために討論し交流する組織として1988年6月に全国の電機の職場で働く仲間が、正規・臨時・パート・派遣の区別なく自主的に結成したもので、三洋電機でも『三洋電機労働者懇談会』が結成されました。会は機関紙として、情報誌『ELIC』(月刊1部100円)を発行しています。

こんなときこそ、働く者の連帯が !!

みんなで助け合い、がんばりましょう

いま、三洋電機の多くの労働者は不安でたまりません。こんなとき、黙ってでは落ち込むだけ。リストラ攻撃から家族や仲間を守ることさえできません。闘ってこそ労働者、連帯してこそ労働者です。会社の配転強要や退職強要にはみんなで知恵と力をだしあい、辞めないでがんばりましょう。

《 転勤・配転に「ノー」と答えるための5章 》

「行きたくない」は正当な理由

よるこんで転勤・配転に応じる人は、きわめて少ないのです。行きたくない、と思うすべての理由は正当です。他人（会社）が正当か否かを判断することは誤りです。

生活の危機を主張しましょう

「配転がいやなら辞めてください。残っても働く場はありません」には「辞めません、会社の都合ばかり言わないでください」と答えましょう。仕事を守り家族を守るのは労働者として当然です。

長年働いてきたことを主張しましょう

長年、苦勞して積み重ねてきた知識・技能、人間関係などが水泡に帰してはたまりません。

うまく言えないときは、だまりましょう

うまくしゃべれない、自信がないときは、いろいろ言われてもだまっていましょう。

ひとりで悩まず、多くの人と相談しましょう

一人で悩んでもいい知恵はでてきません。職場の信頼できる仲間と話し合ひましょう。また、労働組合や地域の民主団体等に相談するのもよいことです。

電機ユニオン関西が相談窓口をつくりました !!

三洋電機のみなさん、一人でなやまず、お気軽にご相談ください

電機ユニオン関西 ・ 関西電機労働者懇談会

大阪市北区錦町 2-2 民主センター内 TEL・FAX 06-6354-7237

..... 私たちも悩み相談を引き受けます

電機労働者懇談会

電話：03-3455-6006(東京) 06-6354-7237(関西) メール：denkikon@nifty.com

.....
全労連・労働相談フリーダイヤル (電話) 0120-378-060

大阪労連・北河内地区協議会 (電話) 06-6906-5091 (FAX) 06-6906-5092